

別紙2 参考様式

現在の人・農地プランの区域の全部又は一部の区域であって既に実質化していると判断する地区

対象地区名	範囲	区域内農地面積(ha)	近い将来の農地の受け手①		近い将来の農地の出し手②		①及び②の面積合計(ha)	備考
			中心経営体数	現状の経営面積合計(ha)	農業者数	貸付等予定面積合計(ha)		
東部1区	大台町内、井内町内、仲台町内、寺沢町内、綱木沢町内、大妻町内、蒔田町内、館岡町内	253	32	123	58	27	150	
東部2-1区	赤沢町内、八幡町内、八田大倉町内、保野子町内、宇治木町内、小泉町内	186	32	125	21	7	132	
西部1-1区	今戸町内、小今戸町内、新屋敷町内、街道町内、田中町内	444	70	273	32	5	278	
西部2-1区	中下村町内、上村町内、坂本町内、海老沢町内	199	65	119	34	3	122	

注1: 1集落1農場を実現しているような区域においては、区域の受け手の事業が将来にわたって安定的に継続される見込みを後継者の確保状況等により確認し、確認した旨を「備考」欄に記載します。

注2: 「範囲」を集落名等により特定できない場合には、地図等を用いて特定することができます。

注3: 「近い将来の農地の受け手」の「現状の経営面積合計(ha)」には、対象地区内における中心経営体の現状の経営面積の合計を記載してください。